

研究機関：広島大学

研究課題名	CT 画像を用いた小児の臍の位置の検討
研究責任者名	広島大学病院 周産母子センター 講師 佐伯 勇
研究期間	2021年 3月11日(倫理委員会承認後)～ 2022年 12月
対象者	2004年1月から 2021年12月の間に、広島大学病院で腹部のCT 検査を受けられた16歳以下の小児患者さん。
意義・目的	<p>新生児期の腹壁疾患（臍帯ヘルニアや腹壁破裂）では、治療により腹壁を形成した後も、腹部に癒痕だけが残って臍が形成されないことがあります。その場合、患児は臍がないことに対して大きなコンプレックスを抱くので、将来的に臍の形成手術が必要になります。腹壁疾患で臍が完全にならな場合は臍が元々どの位置にあるべきなのか不明なので、術前に臍の位置を正確に決定する必要があります。特に小児では臍の位置は成長とともに移動することが分かっているため、手術時に正確な位置に臍を形成することが非常に重要です。</p> <p>これまでの報告では臍は腸骨稜という腰の骨の最も高い位置と一致するとされていますが、正確な画像診断に基づく報告はありません。</p>
方法	<p>原疾患の診断目的に施行されたCT の画像をもとに、コンピューター上で臍の位置と骨盤の骨との位置関係の測定を行います。この結果と、検査施行時の患者さんの年齢・身長・体重の統計学的</p>

解析を行い、小児における臍の位置の目安となる場所を確定します。

（個人を特定可能な情報は解析に用いません）

共同研究機関

なし

試料・情報の管理責任者

広島大学病院 周産母子センター 講師 佐伯 勇

個人情報保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずるこ

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5216

広島大学病院 周産母子センター 講師 佐伯 勇